
【環境モニタリング】
エアサンプラーによる
簡易浮遊菌測定結果報告書

〇〇病院(透析室) 様

平成22年〇月〇日実施

トモテクノ株式会社

1、概要

今回は、UVGI の空気殺菌能力を確認していただくため、エアースンプラーを使用して UV 殺菌前後の浮遊菌検査を次のとおり実施しました。

検査の種類: UVGI 使用前後の浮遊菌を捕集・培養

測定機器: エアースンプラー-BIO-SAMP

サンプリング量: 250 リットル

測定場所: ○○病院 透析室

測定実施日: 平成 22 年○月○日

培養・計測: 大分大学工学部応用化学科監修

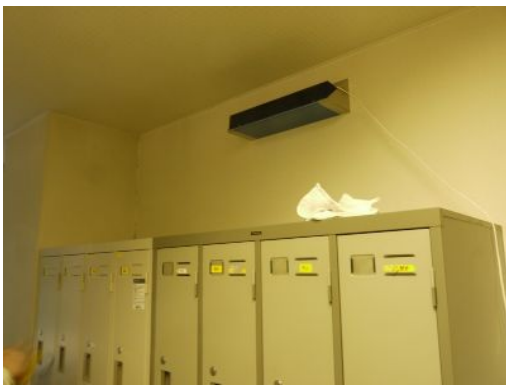
培地: 一般細菌用培地(SCD 培地)

培養条件: 30°C 48 時間培養

算出方法: コロニーカウント方式

比較基準: 日本医療設備協会規格 HEAS-02-1998、日本建築学会環境基準 AJIES-A002-2005

2、測定場所



右奥



左奥



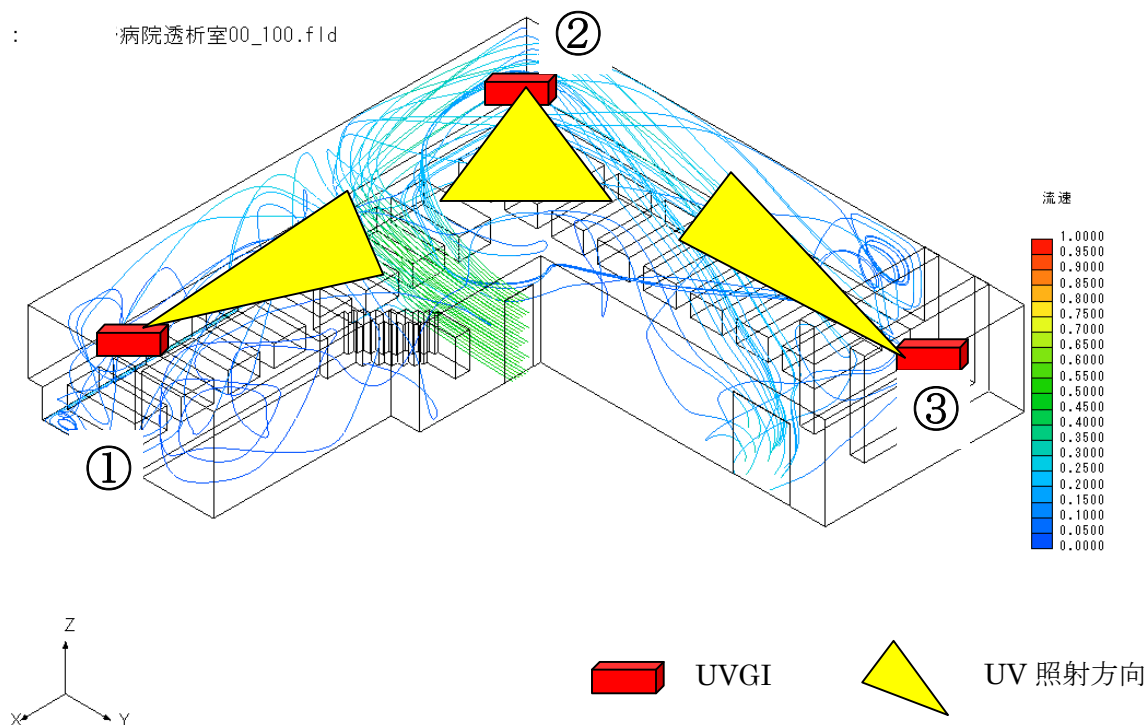
中央



透析室

UVGI 装置の配置と UV 照射方向イメージ

File : 病院透析室00_100.fld



3、測定方法

各検査対象地点にてエアースンプラーにより浮遊菌を捕集し、所定培養後のコロニーカウント値を計測しました。

4、測定結果

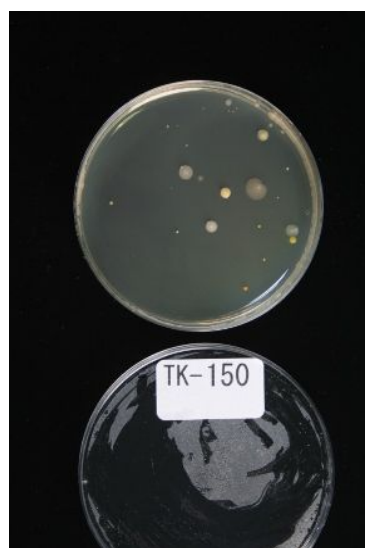
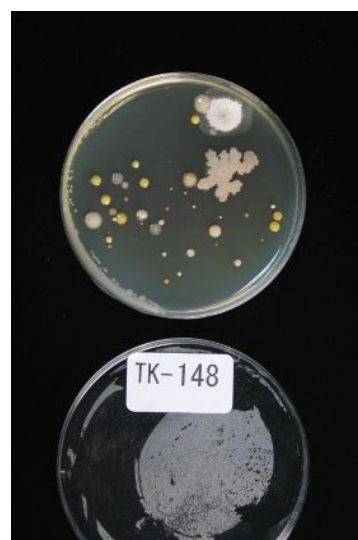
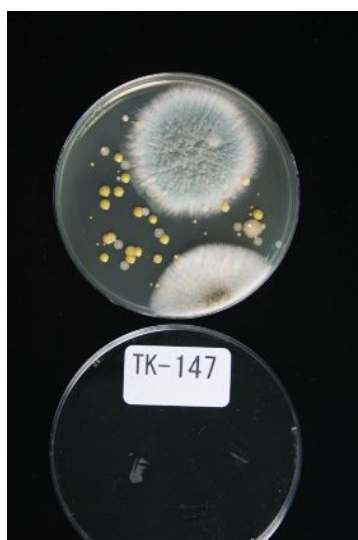
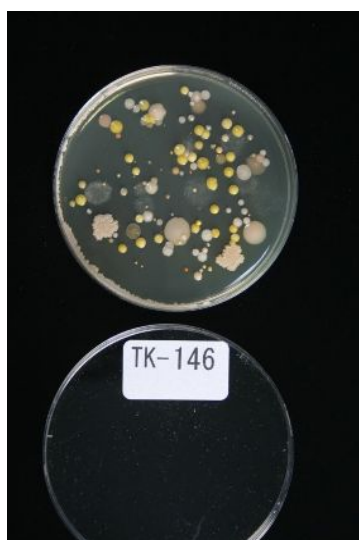
(判定基準)浮遊菌の判定基準は以下の規格基準を参考にしました。

●日本病院設備協会規格 HEAS-02(1998)

清浄度	ゾーン名称	室名	微生物数(個/m ³)
I	高度清浄区域	バイオクリーン手術室、バイオクリーン病室	10
II	清浄区域	一般手術室、手術用配電盤室、清潔廊下、材料部門の既滅菌室、無菌調剤室、開創照射室、手洗いコーナー	200
III	準清浄区域	手術部周辺区域(回復室など)、NICU、ICU、CCU、未熟児室、特殊検査・治療室、分娩室、調乳室	200
IV	一般清浄区域	一般病室、デイルーム、診察室、待合室、玄関ホール、材料部・検査部の一般区域諸室、X線撮影室、内視鏡室、人工透析室、通常新生児室、物理療法室、調剤室	200~500

(測定結果)

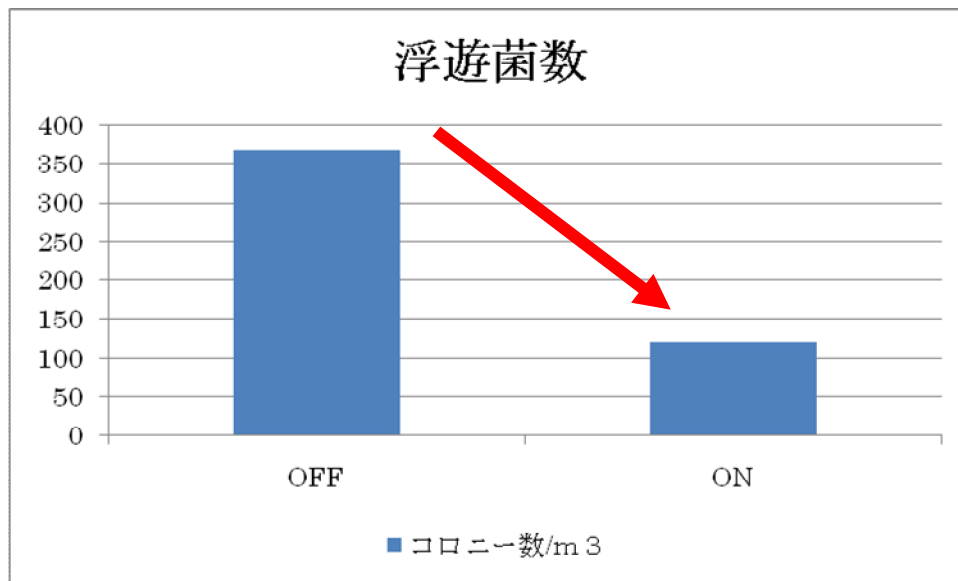
	No	場所	コロニー数	補正コロニー数	コロニー数/m ³	備考		
						在室人数	時間	UVGI
①	TK-146	透析室①	135	151	604	15	10:05	OFF
②	TK-147	透析室②	73	77	308	15		OFF
③	TK-148	透析室③	45	47	188	15		OFF
④	TK-149	透析室①	33	34	136	13	12:35	ON
⑤	TK-150	透析室②	26	27	108	13		ON
⑥	TK-151	透析室③	29	30	120	13		ON



5、判定

(場所：透析室、三点測定値の平均値)

	UVGIなし	UVGIあり	減少率
平均コロニー数/m ³	367	121	67.0%



6、ご提案

- 約 67%浮遊菌を減少することができた。
- 重要施設である透析室の空気環境対策として、UVGI の設置をお勧め致します。